

山形・北村山便り 平成25年9月27日

8月の気象は、気温平年並み、小雨多照でした。(平年対比 +0.2℃、△30%、+18%)

9月上旬は高温、少雨、多照で推移しています。

変化の大きい気象で経過し、農家は栽培管理に苦勞してきましたが、村山地区も収穫の秋に入りました。

水稻は、一部、倒伏が見られるものの、登熟が順調に進み綺麗な稲姿が広がっています。作況は平年並みと見込まれています。収穫は庄内より数日遅く始まり、3割りは越したと見られます。米の生産者価格は昨年よりダウンして決定しましたので、例年にも増して、収量と品質の確保が望まれます。(予想より少ないという声が出ていますが。)

山形県は果樹の有力県で生産量が第1位さくらんぼ・西洋梨、第3位ぶどう、第4位りんご、第5位桃です(柿は残念ながら第8位)。中でも村山は山形県の果樹の中心産地です。

果実の肥大は少雨多照が影響した可能性があり、桃は小玉傾向ですが、甘く仕上がり収穫がほぼ終了したところでは。

りんごは早生の収穫が続いています。玉肥大は昨年より劣っているとのことです。中晩生の収穫に向けて着色管理等、追い込みがかかっています。

ぶどうは早生の収穫が終了し、中生の収穫が始まっているところです

西洋梨も早生の収穫が終了し、中晩生の収穫に向けて管理に力が入っています。

山形県の内陸はそばで盛り上げる動きが盛んです(そば街道だらけです)。栽培面積は北海道に続き全国第2位です。気温の高低差の激しい山間部で栽培されてきた歴史があります。秋そばの花が揃い白く広がっています。(9月半ばの台風の雨風でなびいてしまいましたが起き上がったところです。)

須田

<稲>





<桃>





<りんご>





<西洋なし>





<そば>







山形・北村山便り 平成25年11月

9月の気象は、気温高め、小雨多照(平年対比 +0.7℃、△19%、+57%)、続いて、10月は気温高め、多雨少照でした。(平年対比 +1.9℃、+81%、△16%)でした。

村山地区の水稻は、作況指数105、1等米比率96%以上と見込まれ、収量品質ともに良好となりました。特に、「つや姫」は全量1等米になり、食味等も県の出荷基準をクリアしそうです。

大豆は春の乾燥による出芽遅れ、7月降雨の湿害、八月等の少雨多照で生育不良の圃場がかなりありましたが、収穫作業は天候が良かったため順調に終了しました。

そばは播種が降雨多く遅れましたが、その後の好天で生育も回復し、収穫も遅れながらも終了です。

「山形県は果樹の有力県で生産量が第1位さくらんぼ・西洋梨、第3位ぶどう、第4位りんご、第5位桃です(柿は残念ながら第8位)。中でも村山は山形県の果樹の中心産地です。」

りんごは「ふじ」の収穫が11月半ばに本格化したところです。各組織で品評会が行われ、展示、後、即売会が開かれています。

西洋梨の集荷量は前年をかなり上回っています。

須田





りんご「ふじ」の品評会

